

牧耕述  
山平

# 初學經濟論

卷三  
終

臺灣第一師範學校  
(附設圖書館)

分類號	號
社	門
管	部
三	部
次	次
全 3	冊 3
分類號	25418
冊號	3301

T1A1

23

Ma 38

圖書 和圖書 遡



a 1 3 8 0 3 2 3 0 2 0 a

福岡教育大学蔵書

初學經濟論卷三

牧山耕平 譯

第二十三章

造<sub>ハ</sub>出<sub>シ</sub>タル富<sub>ハ</sub>三分<sub>シ</sub>  
テ、地<sub>代</sub>、利<sub>潤</sub>、及<sub>ビ</sub>勞<sub>銀</sub>トナル

自然力、財<sub>本</sub>、勞<sub>動</sub>ハ、富ヲ造<sub>リ</sub>出<sub>ス</sub>爲<sub>メ</sub>ノ三要件  
ナリ、第一章ヲ見<sub>ヨ</sub>トハ、既<sub>ニ</sub>人ノ知<sub>ル</sub>所ナルヲ  
以<sub>テ</sub>、今此章ニハ、此三ツノ者ヲ用<sub>井</sub>レバ、必ズ之  
ガ報酬ヲ爲<sub>ス</sub>ベキ理ヲ論<sub>セ</sub>ン、但<sub>レ</sub>空氣ノ如キ

自然カニレテ、其分量ニ限リナク、且ツ富ニ非ザル物第二章ヲ見ヨハ、措テ之ヲ問ハズ、

夫レ地代ハ、限界アルノ自然カニ酬フル所ノ者ナリ、利潤ハ、財本ニ酬フル所ノ者ナリ、勞銀ハ、勞動ニ酬フル所ノ者ナリ、然レバ、一年一萬圓ヲ以テ、鐵坑ト鎔鐵場トヲ借り、又七萬圓ヲ以テ、一年間ノ勞銀トシ、而レテ一年ニ造リ出ス所ノ鐵條、一個一圓ニレテ、全數十萬個ナルトキハ、其造リ出レタル富、十萬圓ハ三分レテ、ソノ一萬圓ハ地代ト爲リ、ソノ七萬圓ハ勞銀ト爲リ、タソノ

二萬圓ハ利潤ト爲ルベキナリ、但、若シ財主タル者、自ラ其職事ヲ管理スルノ任ヲ兼レバ、コノ二萬圓ノ中、又分レテ、一分ハ其管理ノ勞ニ酬ヒ、一分ハ利潤トナルベシ、

凡ソ眞實ノ利潤ハ、俗ニ利潤ト稱スル者ヨリモ少ナシ、何トナレバ、財主ノ領有スベキ利潤ノ中、其一分ハ、實ニ財主ノ勞動ニ酬フル勞銀ナレバナリ、蓋シ財主ニ於ル精神ノ勞ハ、傭工ノ精神及ビ筋骨ノ勞ト同シク、其報酬ヲ受クベキハ、理ノ當リニ然ルベキ所ナリ、故ニ其報酬ノ勞銀ヲ以

テ、財本ノ利潤ノ中ニ包括シ、概シテ之ヲ利潤ト見做ス者ハ至當ナラザルナリ、

若シ自然力、財本、勞動ノ三者中、其一若シ他ノ二ヲ助ケザルコトアレバ、都テ產物ハ之ヲ興起スルコトヲ得ベカラズ、故ニ此三ツノ者ハ、各相助テ其ニ其報酬ヲ得ベキハ、固ヨリ其理ナリ、即チ財本ヲ費シテ利潤ヲ得ルト、勞動ヲ致シテ勞銀ヲ得ルト、其理相同ジキナリ、

限界ヨリ自然力、財本、及ビ、勞動ノ三ツノ者ハ、皆富ノ一ハ、物ヲ以テ之ト交易、釋義第二ヲ見ヨ

セズハ、可カデズ、故ニ其造リ出シタル富ヲ分テ、各其用ニ酬フルナリ、

是故ニ、造リ出シタル富ハ、三分シテ地代、利潤、及ビ、勞銀トナルト云フ、

# 第二十四章

富ハ、時アリテ、之ヲ三人ニ分テ、時アリテ、二人ニ分配シ、時アリテ、一人全ク之ヲ領有ス、

產物ヲ造リ出スガ爲メニ、土地、財本、及ビ、勞動ヲ用井、而シテ此三ツノ者、各其本主アレバ、其造リ

出シタル產物ハ、三分シテ各本主ノ所有トナル、  
即チ地主ハ地代ヲ得、財主ハ利潤ヲ得、傭工ハ勞  
銀ヲ得、若シ或ハ一人ニシテ、此三者ノニヲ有テ  
バ、產物ハ即チ二分スベシ、譬ヘバ、一人ニシテ、土  
地ト財本ヲ有テバ、造リ出シタル富ノ中、地代ト  
利潤ハ、其人ノヲ得ベクレテ、勞動ヲ致シタル人  
ハ、獨リ其勞銀ヲ得ルノミ、或ハ勞動ヲ耕作ニ致  
ス者、土地ヲ借リテ自ラ耕セバ、利潤ト勞銀ハ、其  
人ノヲ得ベクレテ、地主ハ獨リ其地代ヲ收ルノ  
ミ、或ハ地主タル者、財本似シク不足ナルニヨリ、

幾許ノ銀ヲ借リテ之ヲ補ヒ、而シテ自ラ其地ヲ  
耕セバ、地代ト勞銀ヲ得ベクレテ、利潤ノ中、己ガ  
出セル財本ニ係ハルモノハ、之ヲ己ニ領有シ、財  
主ノ銀ニ係ハルモノハ、之ヲ財主ニ與フベシ、又  
或ハ一人ニシテ土地、財本、勞動、自ラ勞スルト奴  
僕ヲ用リルトニ論ナク、ノ三ツノ者ヲ有テバ、地  
代、利潤、勞銀ノ三ツノ者ハ、總テ之ヲ己ニ得ベシ、  
譬ヘバ、菜園ノ本主タル者自ラ其財本ヲ費シ、且  
ツ自ラ之ヲ耕セバ、地代、利潤、及ビ勞銀ハ、總テ之  
ヲ己ニ得ベシ、詳言スレバ、土地、財本、勞動ノ三者

ヲ以テ、造リ出シタル所ノ富ハ、總テ一人ノ所有トナル者ナリ、  
是故ニ、富ハ、時アリテ之ヲ三人ニ分テ、時アリテ之ヲ二人ニ分配シ、時アリテ一人全ク之ヲ領有スト云フ、

第二十五章

地代ハ高低ハ需要供給ハ第一、  
則一由リ、利潤勞銀ハ多寡、  
ハ地代ハ高低ハ由ル、  
爰ニ頗々多ク、實地アリテ之ヲ需要スル者少

ナケレバ、其地代ハ低下ナルベシ、第六章ヲ見ヨ、  
地代低下ナレバ、即チ其產物ノ中、地代ノ爲メニ  
費ス所ハ、些少ナルベシ、若シ或ハ、土地ノ供給少  
ナクレテ需要甚ダ多ケレバ、產物ノ中、地代ノ爲  
メニ費ス所許多ナルベシ、又產物ノ中、幾分ヲ以  
テ利潤トシ、又幾分ヲ以テ勞銀ト定ムルヲハ、偏  
ニ土地ノ需要ト供給ノ多寡ニ關係スベシ、  
是故ニ、地代ハ高低ハ、需要供給ハ第一、則ニ由リ、  
利潤勞銀ハ多寡ハ、  
地代ハ高低ニ由ル、  
ト云フ、

釋義第十二

價格トハ他物ヲ買ヒ取ルベキ所

ハカナリ、

物ノ價格トハ他物ヲ買ヒ取ルベキ所ノ力即チ是レナリ、譬ヘバ、天鵝絨三尺ヲ以テ、羅紗六尺、或ハ木綿九尺ヲ買ヒ取ルベケレバ、天鵝絨ノ價格ハ、羅紗ニ二倍シ、又木綿ニ三倍ス、或ハ茶一斤ヲ以テ、咖啡三斤ニ交易スルヲ得ベケレバ、茶ノ價格ハ、咖啡ニ三倍スル者ナリ、即チ價格ハ、物ト物ト相較ズルヲ以テ知ルヲ得ベシ、

釋義第十三

代價トハ、貨幣ヲ以テ、物ノ價格ヲ

表スル稱ナリ、

爰ニ、物ノ價格ヲ表スル便宜ノ爲メニ、萬物ニ通シテ用サレベキ一定ノ元位アリ、貨幣是レナリ、即チ物貨ノ價格ヲ呼ビ做スガ爲メニ、一般ニ用サレ所ノ者ナリ、譬ヘバ、茶一斤ノ價格、咖啡ニ三倍スト謂ハズレテ、茶一斤ノ代價ハ、九十錢、咖啡一斤ノ代價ハ、三十錢ナリト謂フガ如シ、

凡ソ物ノ價格ヲ貨幣ニテ謂ヘバ、之ヲ呼ビテ、

其代價ト曰フ、

第二十六章

價格ハ一般ニ騰貴シ、或ハ  
一般ニ低下スルコトナシ、

價格トハ、既ニ述ブルガ如ク、物ヲ買ヒ取ルベキ  
所ノ力ナリ、今此ニ、天下唯、甲乙ノ二物ノリトシ  
テ、説ク設クニ、其價格ハ、均シク相共ニ騰貴ス  
ルコト得ベカラズ、若シ甲ノ價格騰貴スルハ、愈  
多ク乙ノ買ヒ取リ得ベキト必然ナリ、然レトシ  
ハ、乙ヲ以テ甲ヲ買ハニトスレバ、愈多ク乙ヲ與

ハサル可カラズ、即チシハ、價格ニ於テ低下セシ  
者ナリ、故ニ甲ノ價格騰貴スレバ、乙ノ價格以テ  
低下スベシ、或ハ乙ノ價格騰貴スレバ、之ヲ以テ  
愈多ク甲ヲ買ヒ取リ得ベキト必然ニシテ、甲ノ  
價格ハ、即チ低下セシナリ、一物ノ價格、此ノ如ク  
騰貴スレバ、一物ハ必ズ低下スベキニ由リ、總テ  
價格ハ、均シク相共ニ騰貴スルコト得ベカラズ、  
既ニ二物ノ間此ノ如クナレバ、凡百ノ物亦皆然  
ラザルヲ得ズ、即チ此物品、價格騰貴スレバ、他ノ  
物品ハ、必ズ低下シ、又此品低下スレバ、他品ハ必



ズ騰貴スベシ、是レ低下セシ者ハ、其買ヒ取ルベシ  
力減シ、騰貴セシ者ハ、其買ヒ取ルベキ力増シ  
タルナリ、譬ヘバ、茶一斤ヲ以テ咖啡三斤、或ハ砂  
糖四斤ヲ買フベキトキ、其彼此相對スルノ價格  
均シク相共ニ騰貴スルヲナレ、何トナレバ、茶ノ  
價格騰貴シテ、其一斤ヲ以テ咖啡四斤、或ハ砂糖  
五斤ヲ買ヒ取ルニ至レバ、咖啡ト砂糖ハ、其價格  
ニ於テ低下シ、咖啡或ハ砂糖ヲ以テ茶一斤ヲ買  
ハントスレバ、多ク之ヲ與フベケレバナリ、即チ  
一物ノ價格騰貴スレバ、一物ハ必ズ低下スベシ、

是故ニ價格ハ一般ニ騰貴シ、或ハ一般ニ低下ス  
ルコトナレト云フ、

### 第二十七章

代價ハ一般ニ騰貴  
シ、又一般ニ低下ス、

一物ノ價格騰貴スレバ、一物ノ價格低下スベキ  
ヲハ、既ニ説ク所ノ如シ、然ルニ、貨幣ノ價格貴キ  
ニ至レバ、少ナク之ヲ以テ、多ク他物ヲ買ヒ取ル  
ベシ、是ヲ以テ、凡物ノ代價ハ、一般ニ低下スルヲ  
得、若シ或ハ貨幣ノ價格低キニ至レバ、其多キヲ

加フハニ非ザレバ、他物ヲ買ヒ取ルヲ得ベカラズ、是ヲ以テ、物ノ代價ハ、一般ニ騰貴スルヲ得、今夫レ、茶一斤ノ代價九十錢、咖啡一斤三十錢、砂糖一斤二十二錢半ナルトキ、其供給ノ少ナキガ爲メニ、各騰貴第六章ヲ見ヨレテ、一斤毎ニ其代價二倍シ、茶ハ、一圓八十錢、咖啡ハ、六十錢、砂糖ハ、四十五錢ノ上ニテハ、此三品ニ對スルノ上ニテハ、貨幣ノ價格低下ヒレナリ、因リテ、其低下スル以前ニ買ヒ得タル代價ヲ以テ、其一斤ヲ買ヒ取ルヲ得ハ、リラズ、然ル時ニハ、以上三品ノ代價ハ、

一般ニ騰貴シタルトリ、然レモ、若レ其物ト物トヲ以テ相較アレバ、價格ハ、曾テ高低レタルニ非ズ、尚ホ前日ト同ク、一斤ノ茶ハ、依然トシテ咖啡三斤ヲ買ヒ、或ハ砂糖四斤ヲ買ヒ取ルベシ、是故ニ、代價ハ、一般ニ騰貴シ、又一般ニ低下スト云フ、

## 第二十八章

價格ハ、造出ハ元費ニ基ク、

凡ソ物價ハ、需要ニ遇ハザレバ、之ヲ造リ出ス者ナカルベシ、第六章ヲ見ヨ、又其物貨ト同等ノ價

格アル物貨ヲ以テ、之ト交易スル人アルニ非ザレバ、之ヲ造リ出ス人モ亦ナカルベレ、何トナレバ、物貨ヲ造リ出スニハ、常ニ多少ノ費ヲ要スルニヨリ、之ヲ製造スル者ハ、其費ヨリ低價ニテ交易スルヲ好マザレバナリ、此費ヲ名ケテ造出ノ元費ト云フ、此元費ヨリ低價ニテハ、人其物貨ヲ交易セザルガ故ニ、其物貨ノ價格ハ、必ズ其造出ノ元費ニ關カルナリ、第十二章ヲ見ヨ、造出ノ元費トハ、限界アル自然力、心身ノ勞動、及ビ財本コレナリ、

造出ノ元費ハ、眞實ノ價格ヲ定ムベシ、眞實ノ價格トハ、元費ヲ損耗スルノナクシテ、賣去レ得ベシ物貨ノ價格ナリ、然レニ、其市場價格ハ、眞實ノ價格ヨリ少シク貴トカルベシ、是レ其財主タル者、利潤ヲ加ヘテ、之ヲ賣ルコト常ニシテ、利潤ナクレバ、財主ハ、産物ヲ造リ出スガ爲メニ、其財本ヲ用井ザレバナリ、

眞實ノ價格ハ、一定不變ナリト雖ニ、其市場ノ價格ハ、需要供給ノ多寡ニ從ヒテ高低スル者ニシテ、時アリテハ、眞實ノ價格ヨリ低キヲモアルベ

レ、但レ其低キヲ久シケレバ、之ヲ造リ出スヲ亦  
減ジ、第七章ヲ見ヨ、既ニ減ズレバ、其供給モ亦隨  
ヒテ減ズ、因リテ其市價ハ、ニタビ貴トカルベシ、  
第六章ヲ見ヨ、  
是故ニ、價格ハ、造出ハ元費ニ基クト云ス、

第二十九章

賣買正當ナレバ、  
彼此共ニ益アリ、

凡ソ商賣ニ於テハ、無智ノ人、若クハ詐偽ノ術ヲ  
除クノ外、賣買スル者、一人益ヲ得テ、一人益ヲ失

フ者ニ非ズ、譬ヘバ、英吉利ノ人、鐵ヲ以テ亞米利  
加人ノ綿ト交易スレバ、彼此共ニ利益ヲ得ベシ、  
而レテ其鐵ト綿トノ價格ニ於テハ、各相等レキ  
モノナリ、若レ然ラザレバ、交易スルヲ得難シ、  
蓋シ交易ハ、有餘ヲ以テ、不足ニ換フルガ爲メニ  
シテ、上ニ述ブルガ如ク、英吉利人ハ鐵ニ富ミテ、  
綿ニ乏シク、亞米利加人ハ、綿ニ富ミテ鐵ニ乏シ  
キニヨリ、各其需要ヲ充足ス、故ニ彼此共ニ利益  
ヲ得ルナリ、  
是故ニ賣買正當ナレバ、彼此共ニ益アリト云ス、

第三十章

物ハ物トハ交易ハ、  
開化ハ民ニ適セズ、

古昔草昧ノ世ニ在リテハ、貨幣ノ使用ナク、物ヲ以テ物ト交易セシ者ナリ、今ニ至リテモ、猶ホ野蠻ノ人民ハ、此方法ニ因リテ賣買ス、即チ其食糧餘リアレバ、之ヲ以テ弓矢獸皮等ノ物ニ換ヘ、上ノ如キ交易ハ、開化シタル人民ニ在リテハ、不便ニシテ行フベカラズ、之ヲ例スルニ、裁縫匠ハ、衣服ノ外賣ルベキモノナレ、然ルニ、若シ物ト物

トノ交易、尚ホ行ハルレバ、其麵包ヲ要スルニ方リテ、譬ヘバ、外套ヲ携ヘテ烘匠ノ家ニ到ラン、然レ氏、烘匠若シ外套ニ事ヲ缺カズレテ、予ハ、外套ヨリ煖爐ヲ要スト言ハバ、裁縫匠ハ、更ニ外套ヲ要スル所ノ煖爐師ヲ尋ネテ、先コレト交易シ、次ニ其煖爐ヲ以テ、烘匠ト交易セザルベカラズ、然レモ、若シ不幸ニレテ、此ノ如キ煖爐師ヲ得ザレバ、更ニ復タ他ノ烘匠ヲ尋ヌルノ外別ニ良策ナシ、若シ此ノ如クナレバ、恐ラクハ裁縫匠ハ、烘匠ヲ尋ネ出スニ先チテ餓死セン、且ツ夫レ、外套ノ

價ニ充當スベキ麵包ハ、其量或ハ多キニ過グル  
モ、外套ヲ裂キラ適宜ニ交易スルヲ得ベカラ  
ズ、是レ獨リ裁縫匠ト烘匠トノ間ノミナラズ、其  
他凡百ノ事、皆類推スベキナリ、  
是故ニ、物ト物トハ交易ハ、開化ハ民ニ適セズト  
云々、

第三十一章

貨幣ハ、交易ハ媒ナリ、

物ト物トノ交易ハ、賣買ヲ爲シ難キニヨリ、開化  
ノ人民ニ在リテハ、貨幣ヲ用井ルノ緊要トハ

ナレリ、貨幣ハ即チ交易ノ媒ナレバ、之ヲ有ツ者  
ハ、何レノ賣品ヲ論ゼズシテ、皆得テ之ヲ買フベ  
シ、既ニ述グル所ノ如ク、若シ裁縫匠ニシテ貨幣  
ヲ有チタラバ、其得ント欲スル所ノ麵包ヲ得タ  
リレナラン、又訟師タル者、其長スル所ノ法律ヲ  
以テ、衣食家賃等ト交易シ、或ハ人ノ教師タル者、  
其學問ヲ以テ家賃、雜貨、衣服等ト交易スル者ハ、  
皆貨幣ノ媒アルニ由リテナリ、之ヲ詳言スレバ、  
教師タル者、初メ其學問ヲ賣リテ、貨幣ヲ得次ニ  
貨幣ヲ賣リテ、雜貨、衣服、薪炭、家賃等ヲ得ルナリ、

又靴匠・富ハ、靴履ニ在リ、初メ貨幣ノ媒ニ由リ  
テ其靴ヲ賣リ、次デ革、麵包、其他物品ノ爲メニ、其  
貨幣ヲ賣ル、凡ソ開化ノ人民ニ在リテハ、其交易  
スルヲ皆此ノ如シ、  
是故ニ、貨幣ハ、交易ハ、媒ナリト云フ、

## 第三十二章

貨幣ハ、價格ハ、度ナリ、

長短ノ度ニ尺度ヲ以テシ、輕重ヲ度ルニ權衡  
ヲ以テシ、時期ヲ度ルニ年月日時ヲ以テシ、物貨  
ノ價格ヲ度ルニハ貨幣ヲ以テス、是故ニ、貨幣ハ、

交易ノ媒ニシテ、兼ネテ價格ノ度ナリト定ムベ  
シ、

若シ、價格ノ度トナスベキ者アルニ非ザレバ、此  
物幾許ヲ以テ、彼物ト交易スルヲ得ベキヤハ、得  
テ言フヲ實ニ難カルベク、又人ノ産業モ其領有  
スル所ノ物貨ヲ舉ゲテ、一々之ヲ言ハザレバ、其  
富有ノ幾許トルヤハ、得テ知ルヲ實ニ難カルベ  
シ、故ニ裁縫匠ノ外套ヲ賣ルニ方リテハ、其價格  
ヲ買客ニ語ルニ貨幣ヲ以テシ、或ハ人其富有ノ  
額ヲ語ルモ貨幣ヲ以テス、

是故、貨幣ハ、價格ハ、度ナリト云ス、

第三十三章

正貨幣ハ、物貨ニ同シ、

正貨幣トハ、金銀錢ニシテ、紙幣ハ、正貨幣ニ非ズ、  
金銀貨幣ハ、凡百ノ物貨ノ如ク、齊シク是レ物貨  
ナリ、且ツ金銀ハ、鑄造シテ貨幣トナスト否トニ  
論ナク、齊シク是レ物貨タルヲ猶小鐵鉛等ノ如  
キナリ、

又貨幣ノ價格ハ、之ヲ造リ出シタル元費ニ關リ  
ル、ト、猶小物貨ノ價格ノ如シ、即チ貨幣ノ價格

ハ、其金屬金銀ト、之ヲ鑄造スル費用ニ關カルベ  
ク、又其金屬ノ價格ハ、之ヲ造リ出シタル元費ニ  
關カルナリ、詳言スレバ、鑛山ヨリ掘リ出レ、且ツ  
其汚雜物ヲ分析レタル費用ナリ、  
又金銀ノ價格ハ、需要供給ニ應ジテ高低スルヲ  
猶小凡百ノ物貨ノ如シ、

即チ金ノ産スルヲ多クシテ、世間之ヲ藏スル愈  
饒多ナレバ、之ヲ以テ、衣服食物等ト交易スルニ  
方リテ、其多量ヲ與ヘテ、衣食ヲ得ルヲ愈、少量ナ  
ルベシ、若シ或ハ、其貯藏愈、減少スレバ、其少量ヲ



以テ、衣食ヲ得ルヲ愈々多量ナルベシ、  
上ニ記スル所ノ外、凡百ノ物貨中ニ行ハル、天  
法ハ、亦皆之ヲ以テ、正貨幣ヲ推スコトヲ得ベシ、  
是故ニ、正貨幣ハ、物貨ニ同ジト云フ、

第三十四章

金銀ハ、最も善ク、  
貨幣ハ用ニ適ス、

貨幣ノ用ニ充ツベキ者ハ、左ニ記スルガ如キ物  
質ニ非ザルヲ得ズ、

第一、容積小ク、重量モ亦輕クレテ、且ツ價格貴

トキ物質タルベシ、若レ否ラザレバ、何人ヲ論ゼ  
ズ、日常必用ノ物貨ヲ買ヒ求ムルニ、其代價ヲ償  
フニ足ルベキ巨額ヲ携帶スルヲ得ベカラズ、  
或ハ、賒銀ニテ物貨ヲ買求メ、而シテ之ヲ償フニ  
方リテハ、粗大ニシテ、且ツ重量ナル者ヲ搬致ス  
ルガ爲メニ、時刻ト勞カトラ費サバルヲ得ズ、  
第二、其價格昇降ノ甚シカラザルモノヲ良ナ  
リトス、何トナレバ、其價格常ニ變易スレバ、以テ  
他物ノ價格ヲ度ルヲ能ハザレハナリ、  
第三、其質堅固ナラザル可カラズ、若レ其質減

耗レ易キモノナレバ、其價格ハ日々ニ幾分ヲ減  
少スベケレバナリ、

第四、細ニ分チ得ベキ物質ニ非ザレバ不可ナ  
リ、否ラザレバ、些々タル價格ノ物ヲ買フテ、之ニ  
易フ可カラズ、又兌換ヲ爲スニ難カルベシ、

第五、其質、細密ナル刻印ヲ打チ、其印ヲ保存  
スベキ者ニ非ザルヲ得ズ、是レ其貨幣トシテ、久  
シク用井ラル、ノ後ニ至リテモ、容易ク識別セ  
ラレンガ爲メナリ、

第六、又類似セル物質ト、容易ク區別セラル、

者ニ非ザルヲ得ズ、何トナレバ、奸惡ノ徒アリテ、  
贋金ヲ作ルベケレバナリ、

第七、又開化シタル國々ニ認許セラレザルヲ  
得ズ、何トナレバ、獨リ内國ノミナラス、外國ニ於  
テ、交易ニ用井ルベキ者ナレバナリ、

金銀ハ、他ノ物質ニ較ブレバ、其能ク右ノ七條ニ  
合スルコト、左ノ如シ、

第一、金銀ハ、容量共ニ細小ニシテ、其價格貴ト  
シ、他ノ物質ハ、金銀ト同一ナル容量、ニシテ、同一  
ナル價格ヲ有テル者アラズ、偶コレアルモ、其品

甚タ乏シクシテ、以テ貨幣ヲ作ルニ足ラズ、  
 第二、金銀ハ、價格ノ昇降甚シカラズ、其著シク  
 變易セシ事ハ、凡ソ古今ノ史傳中南亞米利加、及  
 ビ墨西哥ノ鑛山ヲ發見セシ時、唯一タビ之アリ  
 シノミ、而シテ其價格ハ、此時ニ於テスラ、一頓ニ  
 變易セズ、多年ヲ過バ、後始ノテ然リシナリ、他  
 ノ物質ニ至リテハ、其價格ノ變易シタルノ數ナ  
 リ、且ツ大レ、金銀ノ一兩目ヲ掘リ出シ、之ヲ純粹  
 ニナシ、且ツ之ヲ鑄造スルノ費用ハ、今モ猶ホ昔  
 ニ異ノルコトナシ、即チ之ヲ造リ出ス所ノ元費ハ、

常ニ一定ナルニヨリ、其價格モ亦一定ナルナリ、  
 第二十八章ヲ見ヨ

第三、金銀ハ、其質甚ダ堅固ナリ、嘗テ埃及ニ於  
 テ、多年土中ニ埋リタル貨幣ヲ發見セシガ、其色  
 澤形式、共ニ依然トシテ舊ヲ存セリ、

第四、金銀ハ、得テ之ヲ細分スベシ、而シテ其價  
 格ハ、毫釐モ減スルコトナシ、譬ヘバ、一兩目ノ金ヲ  
 取リテ、之ヲ細片ニ分ツル、其價格ハ、毫釐モ差異  
 ナカルベシ、他ノ物質ニ至リテハ然ラズ、若シ金  
 剛石ダイヤモンドヲ取リテ、之ヲ四分スレバ、其價格ハ、百分ノ

九十旭ヲ減ズベシ、

第五、金銀ハ、容易ク貨幣ニ造ルヲ得テ、且ツ其形體圖式ニ、之ヲ久シキニ傳フベシ、

第六、又容易ク贋造スルヲ得ベカラズ、縱令巧ミニ之ヲ爲スニ、之ヲ識別スルヲ亦易カルベシ、例ヘバ、金銀ノ手環ノ如キ、他ノ金屬ヲ以テ贋造スルヲ得ベカラズ、

第七、開化シタル各國ニ於テ、貨幣トシテ認ムル所ノ物質ハ、金銀ノ外アルナレ、是故ニ金銀ハ、最モ善ク貨幣ノ用ニ適スト云フ、

### 第三十五章

紙幣ハ價格低下シテ、貨幣ニ交換ハ難キ者ハ害ナリ、

尺度ニハ、必ず一定ノ長サアリ、權衡ニハ、必ず一定ノ重サアリ、價格ノ度モ、亦必ず一定ノ價格ヲ有タリ、可カラズ、第三十二章ヲ見ヨ、今夫レ、紙幣ハ、眞價格アル者ニアラザレバ、若レ之ヲ其發行レタル銀行ニ持シ至リ、其一圓ヲ以テ、金貨一圓ニ換フルヲ得バ、即チ一圓ノ價格ヲ有ク者ニシテ、紙幣モ亦貨幣ニ異ナルヲナク、且ツ紙幣

ハ、別ニ携帶ニ使ナルノ益アルヲ以テ、其貨幣ト  
交換スルヲ得ベキ各國ニ在リテ、皆好テ之ヲ使  
用ス、然レモ、紙幣ニ兌換ノ道ナキ者ハ、其價、偽價  
ニシテ眞價ニアラズ、何トナレバ、紙幣ノ價格ハ、  
之ヲ造リタル元費ニ關カル者ニ非ガレバトリ、  
夫レ一圓ノ紙幣ヲ造ルニハ、其費用僅ニ一釐ニ  
シテ足ルベクドモ、其一釐以上ノ通用ヲ爲ス  
所以ハ、之ヲ發行シタル銀行、或ハ政府ニ在リテ、  
他日貨幣ヲ以テ之ニ交換スベキ旨ヲ約定スル  
ニ因リ者ニシテ、其今日眞貨幣ノ幾分ノ價スル

ヲ得ル者ハ、唯、他日眞貨幣ニ代フルノ期アルヲ  
以テナリ、此ノ如ク、其價格ハ、專ハラ此期ニ倚係  
スル者ナルガ如シ、此期變スルトアリバ、價  
格モ亦從ヒテ變ジザルヲ得ズ、然ルニ、此期ハ、極  
メテ確定ナリ難クシテ、時々變化スル者ナレバ、  
紙幣ノ價格モ、亦時々高低ヒザルヲ得ザルトリ、  
是故ニ、兌換ノ道ナキ紙幣ハ、價格ノ度トナスニ  
適セズ、譬ハバ、尺度アリテ、其長サ今日ハ三尺、明  
日ハ二尺五寸、又次ノ日ハ二尺七寸トナレバ、  
以テ長短ヲ度ルニ適セザルガ如シ、

若シ紙幣ヲ以テ、精密ニ物ノ價格ヲ度ルヲ能ハ  
ザレバ、紙幣ハ、即チ交易ノ良媒ニアラズ、譬ヘバ、  
爰ニ裁縫匠アリテ、金貨二十圓ニテ、一個ノ外套  
ヲ賣ラント欲セリ、然レバ、交換シ難キ紙幣ニテ  
ハ、二十圓ニテ賣ルヲ欲セザルベシ、何トナレ  
バ、此ノ如キ紙幣ノ價格ハ、日ニ變ズルヲ以テ、明  
日或ハ金貨ノ二十圓ニ對セザルコトアレバナ  
リ、若シ此時、紙幣一圓ノ價格、金貨五十錢ニ當レ  
バ、裁縫匠ハ、其外套ヲ、紙幣四十五圓ニテ賣ルベ  
シ、即チ其四十圓ハ、金貨二十圓ニ等シク、其餘分

ノ五圓ハ、後日紙幣ノ低下セシ時ニ方リテ、虧損  
ヲ負ハザル爲メノ預防ナリ、然レバ、若シ四十五  
圓ニテ、其外套ヲ賣リタル後、紙幣低下シテ四十  
錢トナラバ、其賣リ得タル四十五圓ハ、之ヲ金貨  
ニ換ヘテ、十八圓ナルベシ、(四十五圓ニ四十錢ヲ  
乗シテ此額ヲ得)然ル時ハ、上ノ如ク、餘分ノ五圓  
ヲ得タリト雖モ、畢竟二圓ノ虧損ヲナセシナリ、  
若シ或ハ、此餘分ノ五圓ヲ得ザリシナラバ、其外  
套ノ代價ハ、僅ニ十六圓ニ過ギズ、(四十圓ニ四十  
錢ヲ乘ジテ此額ヲ得)然ル時ハ、四圓ノ虧損ヲナ

セレナリ、

通用紙幣ノ價格、其變易スルヲ上ニ述ブルが如クナレバ、諸商ハ、其低下ノ爲メニ虧損ヲ負ハンヲ恐レ、預メ上文ノ如ク、餘分ノ代價ヲ加ヘテ商フベシ、即チ紙幣ニテ賣ルニハ、之ヲ金貨ニ折算スルノ外、ナホ別ニ低下ノ見込ヲ加ヘテ、其代價ヲ定ムル者ニシテ、凡テ牙行ハ、此預價ヲ加ヘテ、之ヲ店商ニ賣リ、店商ハ亦此豫價ヲ加ヘテ、之ヲ顧客ニ賣ルベシ、是故ニ、到底此餘分ノ代價ヲ出ス者ハ、買者ニシテ、若シ紙幣ニ交換ノ道アラ

バ、此冗費ハ、皆免カル、ヲ得ベキ者ナリ、且ツ貧民ハ通例店商ニ就テ、物ヲ買フが故ニ、其物轉賣ノ數ヲ經ルコト最モ多ク、而シテ轉賣毎ニ、皆此豫價ノ加ハルニヨリ、交換ノ道ナキ紙幣ノ害ヲ蒙ルハ、小民常ニ最モ甚シトス、

上ニ述ブルが如キ紙幣ハ、其容量、共ニ小ニシテ、且ツ巨大ナル虚偽ノ價格ヲ有テルが故ニ、若シ之ヲ以テ、金銀貨幣ニ換フベキヲ、絶エテ止メバ、其價格低下シテ、眞實ノ價格ニ平均シ、第二十八章ヲ見ヨ縦令、一圓或ハ十圓ノ紙幣ナルモ、概キ

一釐、價格トナルバシ、又交換シ難キ紙幣ハ、其價格極メテ不定ナリ、譬ヘバ、綠背弗（Greenback）合衆國ノ紙面綠色ナルニヨリ、此名アリ、（Greenback）ノ如シ、價格常ニ變換シテ止マズ、而シテ其一弗ハ、金貨ニシテ、三十五錢ニ至リシコアリ、又紙幣ハ、久シキニ傳フベカラズ、且ツ之ヲ細分スルヲ得ベシト雖バ、其印號モ磨滅シ易ク、之ヲ贋造スルニモ易シ、又紙幣ハ、之ヲ發行シタル政府ノ疆内ニ在リテノミ通用シ、若シ銀行ニテ之ヲ發行セバ、唯銀行ノ近傍ニ於テ通用スルノミ、決シテ萬國通用ノ貨幣トシテ、用井ル

ベカラザル者ナリ、是故ニ、紙幣ハ、價格低下シ、貨幣ニ交換シ難キ者ハ、害アリト云フ、

### 第三十六章

粗惡ナル通貨ハ、善良ハ通貨ヲ退ガク、

爰ニ、一國ニ於テ通用貨幣二種アレバ、其粗惡ノ者ハ、善良ノ者ヲ退ガクベシ、現今、千八百七十五年、亞米利加合衆國ニ於テ、交易ノ媒タル者、即チ通用貨幣二種アリ、一ハ金貨ニシテ、一ハ綠背弗



トリ、然ルニ、綠背弗ハ、其質ノ惡キヲ以テ既ニ金貨ヲ退ケタリ、

譬ヘバ、合衆國ニ於テ金貨ノ饒多ナリシ時、靴履ノ製造家アリテ、金貨一百弗ヲ借用セリ而シテ今日、千八百七十五年金貨ノ價貴トク、其一弗ヲ以テ綠背弗ニ換フレバ、一弗十二錢トナルニ方リテ、負債者ハ、金貨ナレバ、二弗ニ靴一對ヲ賣リ、又綠背弗ナレバ、二弗五十錢ニテ、之ヲ賣ルベシ、故ニ此時金貨ニテ、右ノ百弗ヲ償還スルニハ、其五十對ヲ要シ、綠背弗ニテ之ヲ償ヘバ、其四十

對ヲ賣リテ事足ルベシ、然ラバ、綠背弗ヲ以テ償還スベキヲ、負債者ノ爲メニ利潤アリ、然レモ、債主ハ、之ガ爲メニ虧損ヲ負フベシ、何トナレバ、其一百弗ハ、金貨ニシテ、率ハネ八十九弗ナレバナリ、夫レ此ノ如ク、負債者ニシテ、其財主ノ恩ニ負ク者ハ、二種ノ通貨ノ行ハルハ、ニ由リテ生ズル所ノ弊害ナリ、若シ負債者、其債ヲ償フニ當リテ、粗惡ニシテ、且ツ廉下ナル通貨ヲ用井ルモ、敢テ妨ゲナシトセバ、負債者ハ、皆粗惡ナル者ヲ以テ償フヘシ、負債者ニシテ、皆此ノ如クナセバ、善良

ノ通貨ヲ用ヰル者ナク、終ニハ市場復タ其一片ヲ見ルヲナキニ至ルベシ、  
是故ニ粗惡ナル通貨ハ、善良ノ通貨ヲ退バハト云フ、

### 第三十七章

貸借ハ貨幣ハ、  
財本ニアラズ、

財本トハ、節用蓄積シテ宜ツ產物ヲ造リ出ス爲メニ用ヰル所ノ富ナリトス、釋義第四ヲ見ヨ貸借ノ貨幣ニ至リテハ、節用蓄積シテ、且ツ新タニ

財本ヲ殖レ得タル者ニアラズ、譬ヘバ、銀行或ハ政府ニ於テ、一百圓ノ證券ヲ發行スルモ、是レ新タニ財本ヲ造リ出セル者ニ非ズ、若シ其證券ヲ以テ、貨幣ト換フルヲ得ベクレバ、證券ハ、貨幣ニ代ル所ノ者ニシテ、且ツ其用タル貨幣ト相異ナルヲナシト雖モ、之ヲ發行シタルハ新タニ貨幣ヲ造リ出セル者ニ非ズ、其貨幣ハ、固ヨリ既ニ在ル所ノ者ニシテ、證券ヲ發行シタルハ、唯其貨幣ノ用ヲ他人ニ移轉シタルマデナリ、譬ヘバ、甲乙ノ二人アリ、甲ハ、金貨一百圓ヲ有チテ、乙ヨリ

衣食等ヲ購求シ、其一百圓ヲ與ヘンコトヲ乙ニ約スベシ、然ル時ハ、其衣食ヲ除クノ外甲乙二人ノ間ニ在ル所ノ財本ハ、依然トシテ一百圓ナリ、而シテ甲ハ、何時ヲ論ビズ、乙ノ請求ニ應ジテ、之ヲ與ヘザルヲ得ズ、證券モナホ此ノ如シ、故ニ證券ヲ造リタルハ、財本ヲ造リタル者ニ非ズ、○是故ニ、證券ハ、唯一時ノ間他人ヲシテ、其財本ノ使用セシムルガ爲ノニシテ、ナホ一片ノ紙面ニ記シタル貸地券ヲ以テ、其定メタル年月ノ間、土地ヲ使用セシムルガ如シ、

夫レ財本ヲ他人ニ借シ與ヘタルハ、之ヲ他人ニ移轉シタル者ナリ、譬ヘバ、甲一百圓ヲ有チテ、之ヲ乙ニ貸シ、乙ヨリ他日利子ヲ加ヘテ、償還スベキ旨ノ證書ヲ取ルトキハ、甲ノ乙ニ貸シ與ヘタルハ、其貨幣ノ用ヲ、乙ニ移シタル者ニシテ、更ニ貨幣、或ハ富ヲ造リタル者ニ非ズ、若シ是ニ因リテ財本ヲ造リタル者ナリトセバ、世上ノ富ハ、今一百圓ノ多キヲ加フベシ、何トナレバ、財本ナル者ハ、總テ富ナレバナリ、若シ貸借ノ事絶エテナカリセバ、既ニ債主ナク、

又負財者ナカルベレ、然ル時ハ、獨リ財本ヲ有  
ル者ニ在リテ、其爲サント欲スル所ノ事ヲ爲シ、  
且ツ其財本ヲ蓄積シ得ベキノミ、今貸借アルハ、  
無用ニ富ヲ有テル者ヨリ、之ヲ有用ニ費ス者ニ  
移轉スル者ナリ、エエニ貸借ハ富ヲシテ財本ト  
ナラシムルノミ、然レバ、直チニ證券ヲ以テ、財本  
ト爲スハ非ナリ、何トナレバ、證券ハ、貯蓄ニタル  
富ニ非ザルヲ以テナリ、  
是故ニ、貸借ハ貨幣ハ、財本ニアラズト云フ、

第三十八章

金融壅塞ハ富ヲ  
浪費スルニ基ク、

商業上、貸借絶エテ止ミ、物價戢ニ下リ、商家ハ衰  
敗シ製造家ハ、作エテ弛メ、工人ハ、勞銀低下シテ、  
且ツ多ク雇役セラレズ、又銀行ニ在リテハ、貸附  
ヲ止メ、或ハ預リ金ヲ償却シ能ハザルコトアリ、  
此ノ如キ形勢ニ至ル者ハ、其本源、果シテ何ニ由  
リテ然ルヤ、今此ニ、之ヲ説述セントス、抑、金融壅  
塞ニ到ルトキハ、其徵銀行ニ於テ、始メテ顯ハル  
、者ナリ、故ニ先ヅ銀行ノ景況ヲ説テ其本源ノ

如何ヲ究ムベシ、

凡ソ銀行ハ、預ケ金ヲ聚蓄シ、且ツ此ヲ以テ、有用ニ消費スベキ人ニ貸シ與フル者ナリ、世ノ諺ニ、銀行一千圓ヲ貸レ附レバ、世間一人ノ傭エヲシテ、職ヲ得セシムルニ足ルト云フ、

譬ヘバ、一千人アリテ、各一千圓ヲ以テ銀行ニ寄托セシニ、若シ其寄托スル所ノ年月久レケレバ、銀行ハ、毎株百分ノ四、或ハ五ノ利子ヲ拂フヘシ、而シテ銀行ニテハ其預リ金ヲ以テ、百分ノ八乃至十二ノ利子ニテ貸與スベシ、因リテ銀行ノ

利潤ハ、其拂フベキ利子ト、取ルベキ利子トノ間ニ在ル者ナリ、

又一千人ノ預リ金一百万圓アリテ、鐵道ヲ造ルガ爲メニ、之ヲ貸シ與フル時ハ、其財本ハ、既ニ鐵道トナリシナリ、斯クテ、鐵道ノ地位、衆民ノ爲メニ、大ニ利便ナルノ處ニ在レバ、鐵道會社ハ、物貨ノ運賃、及ビ旅客ノ汽車賃ヲ領收シテ、其建造ノ費額ヲ償ヒ得ベク、然ルトキハ、會社ハ、以テ銀行ノ債ヲ償ヒ、銀行ハ、又以テ預ケ主ニ其金ヲ償フヲ得ベシ、然レバ、若シ鐵道ノ地位、利便ナラザ

ルノ處ニ在リテ、其建造ノ後、乘客運送等絶エテ  
之ノクバ、會社ハ、少シモ收額ヲ得ベカラズ、故ヲ  
以テ、銀行ニ債ヲ償フヲ得ズ、銀行モ亦其預ケ  
主ニ償フヲ得ベカラズ、然ルトキハ、其影響左  
ノ如シ、

預ケ金ヲナレタル者、疾ク銀行ニ至リテ償却ヲ  
促シ、銀行ハ、償却ヲナレ得ズレテ、鋪店ヲ鎖レ、鐵  
道會社モ、亦其餘ノ金ヲ借ルヲ得ズレテ鋪店ヲ  
鎖レ、既ニ落成シタル鐵道ニ於テ、看護スベキ所  
ノ傭員ハ、其雇役ヲ解カレ、又工人ハ、其他ノ鐵道  
ノ傭員ニ

ヲ建造スルノ半ニ當リテ、其雇役ヲ解カルベシ、  
且ツ鐵條、汽車及ビ貨車等ノ需要ハ減省シ、是ニ  
因リテ、製造家ハ、其工人ヲ減シ、且ツ作工ヲ弛ム  
ベシ、夫レ此ノ如ク切迫スル所以ハ、必要ナラザ  
ル鐵道ヲ造リシ故ヲ以テナリ、之ヲ詳言スレバ、  
預リ金一百萬圓ヲ浪費シタル故ナリ、  
以上ノ一百萬圓ヲ浪費シタル結果ニテ、其被害  
ヲ蒙ムル者、左ノ如シ、

其一 銀行ノ鎖店、

其二 金ヲ預ケタル者、虧損ヲ負フ、

其三 鐵道ノ工人并ニ傭員皆廢止セラル、

其四 鐵條製造所ニ於テ其作エヲ止ム、

其五 鐵坑ヨリ掘リ出セル鐵ノ需要ハ減少ス、

其六 坑夫、擔夫、及ビ鐵冶ハ、雇役セラレズ、

其七 廢止サレタル工人ハ、前日ノ如ク雜貨段

匹、靴履等ヲ買得ズ、因リテ商賣ハ、總テ衰微ニ陷ル、

其八 以上ノ影響ニヨリ、雜貨鋪、靴匠等ハ、牙行

ヨリ買辦スルヲ得ズ、

其九 以上ノ故ヲ以テ、牙行ハ、物貨ノ買入ヲ止

メ、且ツ諸品ノ需要ハ、盡ク相減ジ、其製造モ亦隨ヒテ減少ス、

財本一百萬圓ヲ浪費シタル結果ニテ、總テ諸業ノ被害ヲナスコト上ノ如シ、固ヨリ此一百萬圓ノ貨幣ハ、敢テ消滅シタルニアラズト雖、傭工ノ衣食ヨリ木材、鐵條、橋梁、汽車ノ諸具等ニ至ルマデ、皆世間ノ用ヲナサズ、タゞ無益ニ費タル者ニシテ、一百萬圓ノ貨幣ハ、依然トシテ存セリト雖、此一百萬圓ノ價格ヲ有セル財本ハ、空シク費エタル者ナリ、

以上示ス所ノ事唯其一小例ナレドモ、其大ナルモノモ、亦之ト同理ニシテ、唯以上ノ如キコト、幾件モ連結シ來リ、幾千萬圓ノ金ヲ無益ニ消費スルニ過ギザルノミ、モシ此ノ如クナルトキハ、金融全ク壅塞シテ、其害凡ソ所有家業ニ及ブベシ、是故ニ、金融壅塞ハ、富ヲ浪費スルニ基クト云フ、

第三十九章

金融壅塞ハ、富ヲ造出ス、  
ハ、外、濟フベキ術ナシ、

金融壅塞ハ、富ヲ浪費スルニ基ク、故ニ富ヲ造リ

出シ、以テ之ヲ回復セザル可カラズ、故ニ漸々富ヲ造リ出シテ、之ヲ銀行ニ托シ、或ハ銀行ニ托ヒザレバ、自ラ產物ヲ造リ出スニ用井ルベシ、然ル時ハ、金融壅塞ノ爲メニ、其雇役ヲ解カレタル工人ハ、復タ此作役ニ就クヲ得、因リテ復々雜貨鋪、烘匠等ヨリ、其需要スル所ノ物貨ヲ買ヒ得ベシ、又此等ノ商家ハ、牙行ヨリ新規ノ買辦ヲナシ、牙行ハ、又其物貨ヲ製造家ニ囑托スベシ、即チ諸業回復シテ、富此ニ生ジ、上ニ云ヘルカ如キ障碍ハ、絶エテ止ムベシ、



是故ニ金融壅塞ハ富ヲ造出スルハ外、濟フベキ術ナシト云フ、

釋義第十四 租稅トハ、政府ニテ國內ノ人民、或ハ産業ニ賦課シテ收ムル所ノ金ナリ、

釋義第十五 海關稅トハ、輸入ノ物品、即チ外國ヨリ船致シタル物貨ニ賦課スル所ノ稅銀ナリ、

釋義第十六 稅則トハ、徵稅ノ法則ナリ、

稅則ニ二種アリ、曰ク國費稅、曰ク保護稅、是ナリ、國費稅ノ本旨ハ、政府ノ要用ナリトスル所

ノ金額ヲ收ルニ在リ、此法則ノミ行ハル、國ハ、之ヲ自由貿易ノ國ト云ヒ、政府ハ、唯其歳出ニ充ツル所ノ租稅ヲ收ルノ外、船致シタル物貨ニ稅ヲ課スルナシ、

保護稅ハ、其國內ノ製造家ヲ勸獎シ、且ツ其造リ出シタル物貨ヲシテ、輸入物ヨリモ低價ニテ賣ラシムルガ爲メニ、課スル所ノ稅ナリ、蓋シ保護トハ、其國內ノ製造家ヲ保護シテ、外國人ノ競争ニ壓セラレザラシムルノ謂ナリ、國費稅ハ、專ラ政府ノ爲メニシテ、保護稅ハ、其

一分ハ政府ヲ益スト雖、首トレテ製造家ノ爲メニ設ケル者ナリ、

#### 第四十章

税則ハ、専ラ國費、

税ヲ施行スベシ、

保護税ハ、不正ニレテ且ツ弊害アリ、今ツノ一例ヲ舉ゲテ之ヲ證セン、譬ヘバ、羅紗ヲ買ヒテ、外套ヲ作ラント欲スル人アリ、英吉利ノ羅紗ハ、世界第一ノ良品ナルニヨリ、彼レ必ズ曰ハン、予英吉利ノ羅紗ヲ買ハントス、其品良好ニシテ、且ツ廉

價ナリト、若シ夫レ、自由貿易ノ行ハレタラニハ、三尺ノ羅紗ハ、代價一弗ニテ、之ヲ買ヒ得ベシ、亞米利加ノ羅紗ハ、其品位劣リタル上ニ、每三尺ノ價、一弗五十錢ナリ、然レバ、我亞米利加政府ニ在リテハ、其買者ヲシテ、本國ノ羅紗ヲ購求セシメ、モンガ爲メニ、英吉利ノ羅紗ニハ、僅ニ一弗每ニ輸入税六十錢ヲ賦課セリ、即チ其三尺ノ價ハ、一弗六十錢ナリ、因リテ、買者ハ、其高價ニシテ求メ難キニヨリ、一弗五十錢ニテ本國ノ羅紗ヲ買フベシ、斯クシテ、其利潤ヲ得ル者ハ、何人ナルヤ、特リ

亞米利加ノ製造家ニ在ルヲ見ルノミニシテ、買者ハ、毎三尺五十錢ノ虧損ヲ蒙ルナリ、其製造家ナル者ハ、員數寡少ニシテ、羅紗ヲ買フ者ハ、衆多ナリ、故ニ全國ノ民ハ、寡少ノ人ノ爲メニ、巨大ノ金額ヲ抛タザルヲ得ズ、保護稅ハ、正シカラズシテ、弊害アリト云フ所以ハ、ソレ之カ爲ナリ、且ツコレノミナラズ、諸國貿易ヲナスヤ、必ズ自由貿易ヲ行フベシト謂フ所以ハ、更ニ又道理アリ、即チ各國ニ於テ、其貿易自由ナル時ハ、最モ廉下ニシテ、且ツ最モ善ク造リ得ベキ者ヲ造リ出

スベシ、譬ハバ、佛蘭西ニテハ、良好ニシテ廉價ナル絹帛ヲ產出スレバ、英吉利ニテハ、其地桑樹ヲ培養スルニ適セザレバ、養蠶スルヲ得ズ、因リテ絹帛ヲ產出スルヲ能ハズ、然レバ、此國ニ在リテハ、良品ニシテ、廉價ナル所ノ利器ヲ製造シ、以テ佛蘭西ノ良好ナル絹帛ト貿易セリ、若レ夫レ、英佛二國各、其本地ニ於テ絹帛ヲ織成シ、利器ヲモ製造セザル可カラズトセバ、其成果ハ如何ナルベキヤ、蓋シ佛蘭西ハ、極メテ粗雜ニシテ、不廉ナル刃物ヲ造リ出シ、又英吉利ニ於テハ、甚タ粗

雜ニシテ、不廉ナル絹帛ヲ織リ成スベシ、然ルト  
 キハ、二國ノ人、皆其害ヲ蒙ムリ、其利潤ヲ得ル者  
 ハ、獨リ製造家ニアルベシ、  
 夫レ政府ハ、稅ヲ一人ニ課シテ、利ヲ他人ニ得ヒ  
 シムベキノ理ナシ、其人ヲ處スルノ道ハ、必ズ偏  
 愛アル可カラズ、總テ吾人ハ、最モ良好ニシテ、最  
 モ廉下ナル物品アレバ、其何地ノ産ナルヲ論ビ  
 ズ、之ヲ買ハ、ベキ權利ヲ有ラリ、然レモ、自由貿易  
 ノ行ハルハ、ニ非ザレバ、人此權利ヲ得ルコト能  
 ハズ、

保護稅ノ爲メニ、說ヲ爲ス者ノ言ヲ聞クニ、保護  
 稅ハ、本國ノ製造ヲ勸獎シ、且ツ此ニ由リテ、輸入  
 品ヲ他國ニ仰ガズ、又其傭エラレテ、雇役ニ就  
 ムルガ爲メニ、其國ヲ利スル者ナリト云フ、  
 然レモ、此國ノ人、彼國ノ物貨ヲ買フヲ以テ、不可  
 ナリトスル者ハ、抑又何ノ道理アリテ然ルヤ、今  
 之ヲ一身ニ譬ヘテ言ハ、其人、物ヲ隣家ニ買フ  
 ベカラズト謂フニ異ラザルナリ、  
 爰ニ人アリ、其衣食、家宅、書籍、靴履、及ビ其他ノ諸  
 物、皆自ラ之ヲ造ラザルベカラズトセバ、其一年

會計、恐ラクハ、專ラ靴履ヲ造リテ之ヲ賣リ、其得ル所ノ者ヲ以テ、衣食、書籍等ヲ買フノ勝レルニ若カザルベシ、(第十章ヲ見ヨ)一國ノ事モ猶ホ此ノ如シ、諸般ノ物ヲ悉ク自國ニテ製造センヨリ、最モ善ク造リ得ベキ物貨ヲ製造シ、然ル後、其剩餘ヲ以テ、他國ノ最モ善ク造リタル物貨ト交易スベキナリ、是レ恰モ靴匠ノ靴履ヲ以テ、裁縫匠、農夫等ノ物産ニ易フルニ異ナラズ、又保護稅ハ、工人ノ員數ヲ増スベキ効驗ナレ、其故ハ、國ノ財本ヲ増サバレバナリ、蓋シ此國ニ於

テ、一種物貨ノ保護ヲ廢セバ、外國ニテ其物貨ヲ製造シテ、此國ニ齎ラレ至ルベシ、然ル時ハ、此國ニ於テ、其物貨ヲ造リ得ベカラズ、或ハ之ヲ造リ得ルモ、保護ヲ受ケシ時ノ如ク多カラズ、故ヲ以テ、其製造ノ爲メニ、雇役セラレザル工人ハ、其職ヲ失フベシト雖、更ニ他ノ作エニ從事スルヲ得ベシ、何トナレバ、彼ノ國ヨリ、齎ラレ至リタル輸入品ニ報フルガ爲メニ、必ズ他ノ物貨ヲ造リテ、此國ヨリ輸出セザル可カラズ、然ル時ハ、コレマデ、其製造ニ傭役セラレタルモノ、皆新製造ニ

從事スルヲ得レバナリ、

高キ保護税ハ、獨リ其利潤ヲ製造家ニ與フルノ  
ミ、而シテ此利潤ハ、訟師、教師、醫師、新聞記者、雜貨  
商估、農夫等ノ如キ、製造ニ係ハラザル人々ヨリ  
與フル者ナリ、千八百七十年ニ方リ、我亞米利加  
合衆國ニ於テ、諸般ノ製造ニ從事シタル雇主、傭  
工ハ、其數合セテ二百七十萬零七千四百二十一  
人ニ過ギズ、而シテ農夫ノ數ハ、五百九十二萬二  
千四百七十一人ナリ、是故ニ、保護税ハ、衆多ノ人  
ヲ收歛シテ、寡少ノ人ヲ利スルナリ、加フルニ、若

レ諸般ノ製造家ト雖モ、保護税アラザルトキハ、  
其自ラ作ラザル所ノ物貨ヲ低價ニテ買ヒ得ベ  
キニ、此税則ノ行ハル、ニ於テハ、更ニ高價ヲ出  
シテ買ハザルヲ得ズ、即チ直チニ其利潤ヲ得  
ル人モ、亦暗ニ虧損ヲ蒙ムルベシ、又保護ヲ受ケ  
タル物貨ヲ製造スル所ノ人ハ、之ヲ保護税ナキ  
時ニ比スレバ、固ヨリ利ヲ得ルコト厚シト雖モ、  
其賣鬻ノ地、唯、本國ノ市場ニ限リテ廣キコトヲ  
得ズ、譬ヘバ、亞米利加ノ斧斤製造家ハ、曾テ世界  
萬國ニ斧斤ヲ賣リシガ、今日ニ至リテハ、英吉利

ト其威ヲ競フコト得ズ、其故何トナレバ、保護税ノ高キニヨリ、其製造ニ用井ル所ノ物材、機械、及ビ勞銀等ニ至ルマデ、甚ダ騰貴セシニヨリ、英吉利ニ於ケルガ如ク、廉價ニシテ、最モ良好ナル斧斤ヲ造リ出スコト能ハザレバナリ、是故ニ、外國ニ於テ其價ノ低下セシニヨリ、合衆國ノ疆外ニハ、一把ノ斧斤ダモ、之ヲ賣ルコト能ハズ、而シテ其本國ニ於テ得ル所ノ厚利ハ、之ヲ保護税ナクシテ、海外ニ賣ルヲ得ルノ日ニ比スレバ、多クハ却リテ相償フニ足ラズ、

讀者他日食房ニ坐シテ四顧スルトキ、房中ノ諸品、并ニ卓上ノ器物ヲ見テ、宜シク思維スベシ、是レ此等ノ品ハ、幾何ノ保護税ヲ課セラレシヤト、即チ税則ニ照シテ之ヲ視レバ、食卓ノ税ハ、百分四十ナリ、卓布ハ、百分ノ四十二ナリ、皿ハ、大小トモ百分ノ四十六ナリ、鍍金シタル食匙ハ、百分ノ三十五ナリ、食刀、食叉ハ、共ニ百分ノ六十ナリ、床氈ハ、百分ノ七十五ナリ、暖爐ハ、百分ノ四十五ナリ、鍍金シタル咖啡瓶ハ、百分ノ四十六ナリ、磁器茶瓶ハ、百分ノ三十八ナリ、食鹽ハ、百分ノ六

十ナリ、壁紙ハ、百分ノ四十七ナリ、窓ノ硝子板ハ  
百分ノ六十ナリ、椅子ハ、百分ノ三十四ナリ、例此  
八百七十五年ノ稅○若シ國費稅ノ行ハレタラ  
シニハ、凡ソ此等ノ輸入品ハ、其價甚ダ廉下ナル  
ベシ、然レトキハ、今亞米利加ニテ、用ヰル所ノ財  
本勞動ハ、更ニ他物ヲ造リ出シテ、以上ノ諸物ニ  
交易シ、以テ之ヲ輸出スベシ、然レバ、財本及ヒ勞  
動ハ、別ニ減少スルノ憂ナクレナ、日常必須ノ物  
貨ハ、多ク廉價ニテ、之ヲ買ヒ得ルニ至ルベシ、  
右ノ諸害ノ外、保護稅ヲ賦課スレバ、外國品ノ輸

入ヲ防グルノ故アルヲ以テ、我亞米利加人ハ略  
外國品ニ似タル物貨ヲ製造スルト雖モ、然レモ、  
之ヲ賣ルニハ、其外國品ノ價ニ、海關稅ヲ加ヘテ  
算ヲ立テ、稍之レニ方ルヲ以テ率トス、故ニ保護  
稅ナル者ハ、其政府ノ收額迥カニ國費稅ニ及バ  
ズ、是ヲ以テ、此稅法ハ到底寡少ノ人ヲシテ、大利  
ヲ得セシメ、衆多ノ人ヲシテ、甚ダ高ク買ハシメ  
テヤムノミ、

是故ニ、稅則ハ專ラ國費稅ヲ施行スベシト云フ、  
初學經濟論卷三終



初學經濟論卷三終

版權免許

明治十年

九月六日

譯者  
出版人

東京府平民

牧山耕

平

駒込西片町  
九番地

小石川

雁金屋清吉

發兌書肆

芝

和泉屋市兵衛

馬喰町

森屋治兵衛